

ハイパーギアがバイオ参入

立命館大と土壤診断

有機農業の適地判断を支援

【さいたま】ハイパーギア(さいたま市大宮区、本田克己社長、048・654・2141)は、バイオ事業に参入し、ソフト開発と並ぶ事業の柱に育てる。第1弾として立命館大学生命科学部と共同で有機土壤診断サービスを始めた。有機農業をするのに適した土壌かどうかを土中の微生物量などで判断し、情報提供する。5年後にバイオ事業を4億円規模に成長させる計画。

提供する「有機土壤診断」は土壌のバクテリアと窒素循環能力を測定する。バクテリア量をデオキシリボ核酸(DNA)で測定する立命館大が持つ土壌分析技術を元

機農業を始めようとする個人や農業コンサルタントなどに分析データを提供する。

分析は立命館大学内にあるバイオベンチャーのアイアイビー(滋賀県草津市)が担い、ハイパー

ギアが解析ソフトの開発やサービスの仕組みづくり、顧客窓口として参入する。ユーザーは土200坪をアイアイビーに郵送。分析後のデータをハイパーギアがユーザーにわかりやすい報告書にまとめて提供する。サンプル到着後、2週間程度で報告書が届く。料金は1サンプル当たり2万1000円。年間300件程度の受注を見込む。

ハイパーギアは自社のITノウハウがバイオ技術の普及に生かされると考え、立命館大と連携。アイアイビーの今中忠行最高経営責任者(CEO)を非常勤取締役に招くなど準備を進めてきた。

ハイパーギアは電子文書を安全に作成・運用できるソフトを開発している。09年9月期売上高は4億4400万円。